



写真：佐伯泰英事務所

# 旅と小説

# 佐伯通信

2014年8月(平成26)  
第22号  
発行  
佐伯泰英事務所  
担当/文藝春秋  
禁・無断転載

海外旅行の記憶にはいくつかのパターンがあるように思える。  
スリランカは旅を終えて数か月後にじんわりと蘇ってくるタイプかもしれない。隣国インドに比べ(そもそも比べることが無意味なのだが)色彩が希薄とい

うか刺激が少ないというか、旅している間はさほど印象に残らなかった。そこでホテルの部屋で持参した北欧系作家のミステリー文庫を読みふけていたら、ますますスリランカが遠のき、気持ちが陰鬱になった。  
日本に限らずこの国も強いストレスを抱えて現代を生きている、そんな北欧社会を反映した虚構の物語に気分が落ち込んだ。異国に旅に出て、持参した小説を読んで暗い気持

## 佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

11月	10月	9月
28日発売予定	15日発売予定	9日発売予定
『新・古着屋総兵衛』(仮) 9 『歌麿受難』(仮)	『鎌倉河岸捕物控』(仮) 25 『新友禅の謎』(仮)	『交代寄合伊那衆異聞』(講談社文庫) 21 『暗殺』(光文社文庫) 15 『夏目影二郎始末旅』(光文社文庫) 13 『神君狩り』(シリーズ最終巻) 14

夏目影二郎始末旅【決定版】  
12 鶴女狩り 8月発売予定  
13 忠治狩り 9月発売予定  
14 獎金狩り 9月発売予定

「佐伯通信」第23号が入ります。  
(初版の初回出荷分のみ挟み込み)

近刊・作品情報はここでもチェックできます。  
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2014年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。  
(株)文藝春秋、(株)講談社、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社、(株)光文社、(株)新潮社

## 新シリーズ いよいよ文春文庫から 刊行開始!

文藝春秋文春文庫  
「新・酔いどれ小籾次」シリーズ担当

田中貴久



「佐伯泰英先生からお呼びがかかった!」  
かねてより先生に作品のご執筆のお願いをしてきた歴代の担当者たちとともに奮い立って、熱海は惜櫻荘へとお伺いしたのが2013年の10月。ようやく「新・酔いどれ小籾次」シリーズの第1作「神隠し」をお披露目いたします。  
旧シリーズの愛読者のかたがたにはご存知の主人公、小柄な体躯に強靱な精神とすさまじい剣技を秘めながらも、市井のなかで謙虚さを失わずに誰からも愛される小籾次の、新しい冒険がこれからはじまります。江戸の町に一陣の風が吹き渡り、ミステリアスな事件が起こる本作をかわぎりにして、いったいどんな事件が待ち受けているのか? そして錯綜する登場人物たちの運命は? 読者とともに、担当編集も頂く原稿を楽しみにしています。  
※「新・酔いどれ小籾次」は別宮ユリア・田中貴久で担当していきます。

新・酔いどれ小籾次シリーズ  
第1作「神隠し」

ちになることもないのにと分かっていた。書を捨てよ、町へ出よう、と思ったが読み続けた。  
そんなとき、ふと小説の役目っていったいなんだろうと考えた。  
私の書く時代小説の特徴は、浮世離れした能天気と勤善徳悪かな。いつもワンプターンの作風に劣等感を抱きつつ書いてきた。だが、読者は重苦しくも切ない現実から逃れたい気持ちで架空の世界「江戸」に心身を癒しておられたのかなどと己の仕事を手分に分析して妙に得心した。旅から数か月が経った今、パソコンの前で合巻を漣えたスリランカ人の風貌や仕草がふうっと蘇ってきた。  
こんな旅もありか。日常にもどって海と朝日を見ながら、旅の余韻にひたっている。  
「佐伯通信」第23号は、9月12日刊行予定の「交代寄合伊那衆異聞21 暗殺」(講談社文庫)に入ります。

《光文社文庫》

「吉原裏同心」

NHK連続ドラマ化

NHK総合 木曜時代劇  
出演▶小出恵介 貫地谷しほり 近藤正臣 ほか

好評放送中!!  
毎週木曜日 20:00~

◆映像化情報◆